

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月21日(2008.3.21)

【公表番号】特表2007-531091(P2007-531091A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-504389(P2007-504389)

【国際特許分類】

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 4 6 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

監視されるリソースの監視方法であって、前記監視されるリソースが複合リソースの一部であるかどうかを判断するステップと、前記監視されるリソースを前記複合リソースと関連付けるステップと、前記監視されるリソース及び前記複合リソースについての監視情報を報告するように監視情報の報告フォーマットを変更するステップと、を含む方法。

【請求項 2】

リソース・マネージャにおいて前記監視情報を受け取るステップと、前記複合リソースについての前記監視情報を集約するステップとを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記監視されるリソースを前記複合リソースと関連付けるステップが、前記監視されるリソースについての入力項目をリソース・データ構造に作成するステップを含む、請求項 1 又は請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記リソース・データ構造がリソース・テーブルである、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記監視されるリソースを前記複合リソースと関連付けるステップが、前記リソース・データ構造における前記入力項目を、複合リソース・データ構造における入力項目とリンクさせるステップを更に含む、請求項 3 又は請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記複合リソース・データ構造が、クラスタ・データ構造及びグリッド・データ構造の 1 つである、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記複合リソースがクラスタであり、前記監視されるリソースを前記複合リソースと関連付けるステップが、前記リソース・データ構造における入力項目を、クラスタ・データ構造における入力項目とリンクさせるステップを更に含む、請求項 3 から請求項 6 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 8】

前記クラスタがグリッドの一部であるかどうかを判断するステップと、前記クラスタを前記グリッドと関連付けるステップとを更に含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記クラスタを前記グリッドと関連付けるステップが、前記クラスタ・データ構造における前記入力項目を、グリッド・データ構造における入力項目とリンクさせるステップを含む、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記監視されるリソースが複合リソースの一部であるかどうかを判断する前記ステップが、複合リソースのためにロードされたファイル、前記リソースのオペレーティング・システムに組み合わされたフック、及び、複合リソースのために実行されているプロセスの少なくとも 1 つを識別するステップを含む、請求項 1 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 11】

コンピュータ上で実行されたとき、請求項 1 から請求項 10 までのいずれか 1 項に記載の全てのステップを実行するようにされたプログラム・コード手段を含むコンピュータ・プログラム。

【請求項 12】

監視されるリソースの監視装置であって、前記監視されるリソースが複合リソースの一部であるかどうかを判断するための判断手段と、前記監視されるリソースを前記複合リソースと関連付けるための関連付け手段と、前記監視されるリソース及び前記複合リソースについての監視情報を報告するように監視情報の報告フォーマットを変更するための変更手段と、を含む装置。